

TAISEI

たいせいサークル

Circle

2004年度中間事業報告書



株主の皆様へ

中期経営計画の着実な推進に向けて

社長 葉山 亮 児

株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業界を取り巻く経営環境は、民間需要に回復感が現れてきたものの、依然として建設投資の縮小は続いており、厳しい状況にあります。

このようななかで、当社グループは今年度より新たな中期経営計画をスタートいたしました。当社は高い収益力を有し、都市開発、エンジニアリング分野では業界随一の実績を誇っております。今後とも優位性を保ち、「受注」、「利益」、「品質」、「技術」のいずれにおいてもトップクラスを維持するために、以下の施策を推進してまいります。



2

- ① 増加する証券化案件やPFI案件、大型プロジェクト等を受注するために、積極的に投資を行います。高い技術力と長年の実績を活かし、海外建設工事の受注を拡大します。またエンジニアリングやリニューアル等に重点的に取り組みます。
- ② ITによる生産管理を推し進め、資機材の調達・運用・物流等、新しい時代に適合する生産の仕組みを構築します。さらに販管費を含め、全ての経費の削減を実施します。
- ③ 引渡後の性能・品質までを重視した品質管理基準を設け、顧客から絶対的な信頼を得られるように会社全体として組織的な品質管理を行います。
- ④ 戦略的な新技術の開発のため、外部とのアライアンスを積極的に行います。また人材の育成・増強等、将来に向けた先行投資と確実な技術の伝承を行います。

中期経営計画の最終年度となる2006年度における連結ベースでの受注高は1兆5,800億円、売上高は1兆5,700億円、経常利益は520億円を目標にしております。

なお当上半期の中間配当金は、1株につき2円50銭とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

当上半期のわが国経済は、輸出と設備投資の増加に支えられ回復基調が続きました。建設経済は、製造業を中心に民間建設投資は堅調に推移しましたが、予算の削減等に伴い政府建設投資は大幅に減少しました。また激しい価格競争が続くなかでの資材価格の高騰等もあり、全体としては厳しい状況となりました。

このようななかで、当社は「中期経営計画」に基づき、受注と利益の確保、経費の削減等に全力をあげて取り組みました結果、受注高につきましては、前年同期比17.6%増の6,582億円となりました。その内訳は、建設事業95.9%、開発事業等4.1%で、さらに建設事業の内訳については、土木・建築の割合は、27.7%、72.3%、官公庁・民間・海外の割合は、10.5%、68.0%、21.5%であり、特命比率は35.9%です。

売上高につきましては、前年同期比4.8%増の4,765億円となりました。その内訳は、建設事業94.9%、開発事業等5.1%です。この結果、当下半年への繰越高は1兆7,913億円となり、前年同期比2.7%増となっています。

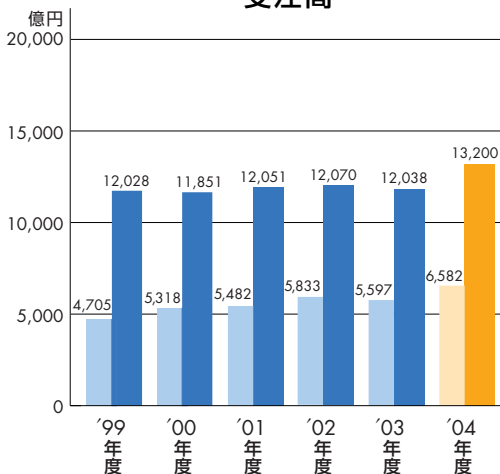
経常利益は前年同期比4.9%増の91億円です。また中間純利益につきましては、前年同期比10.6%増の49億円となりました。

なお、連結ベースでの上半期の受注高は8,255億円、売上高は6,188億円となり、経常利益は53億円、中間純利益は23億円となりました。

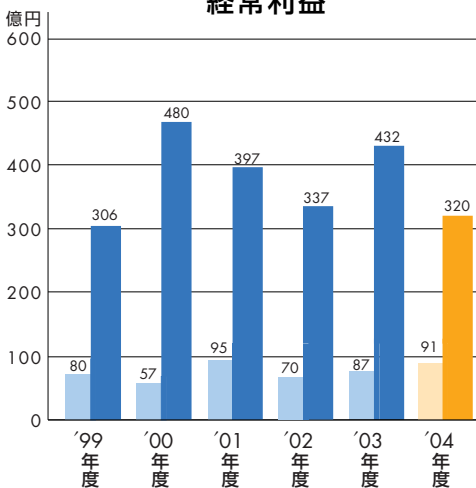
● 単体

*2004年度通期は見通し。

受注高

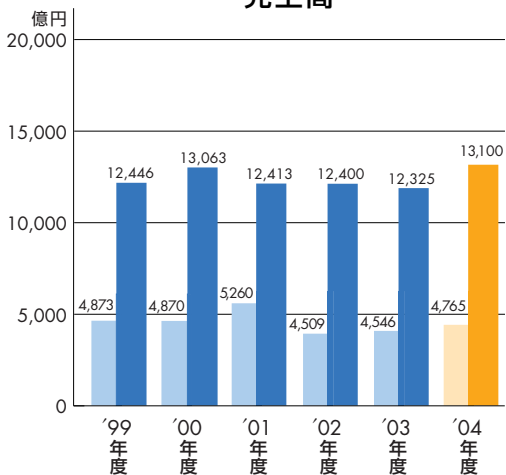


経常利益

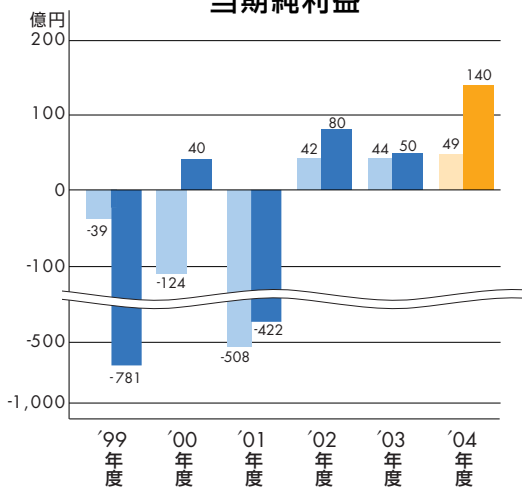


■通期 ■中間期

売上高



当期純利益

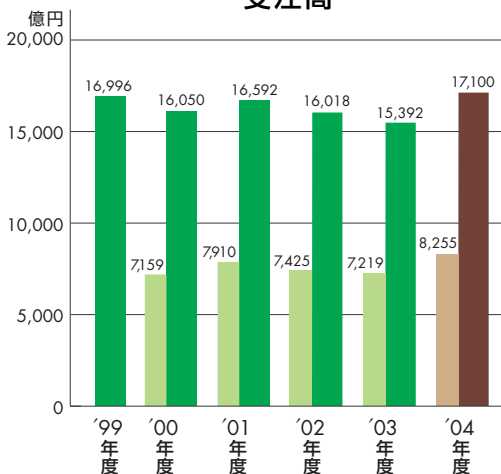


● 連結 (連結子会社58社 持分法適用関連会社9社)

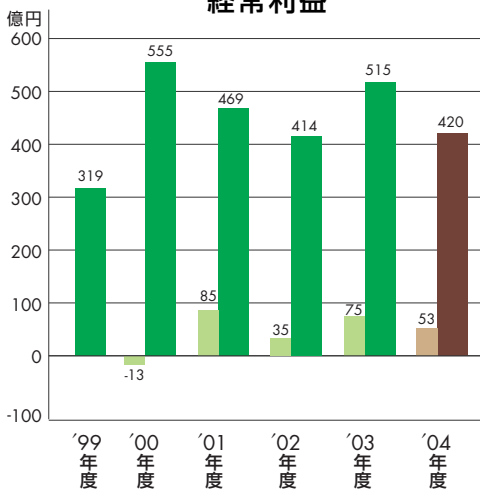
*1999年度は、中間連結財務諸表を作成しておりません。

*2004年度通期は見通し。

受注高

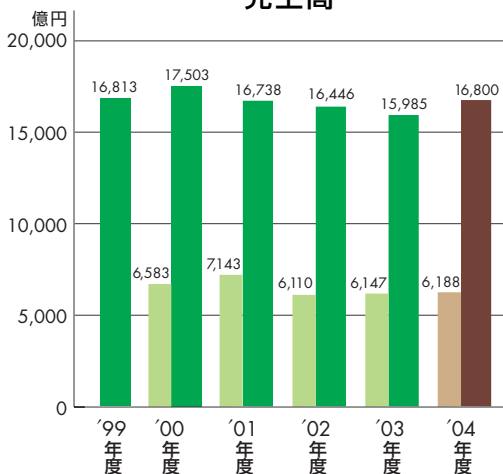


経常利益

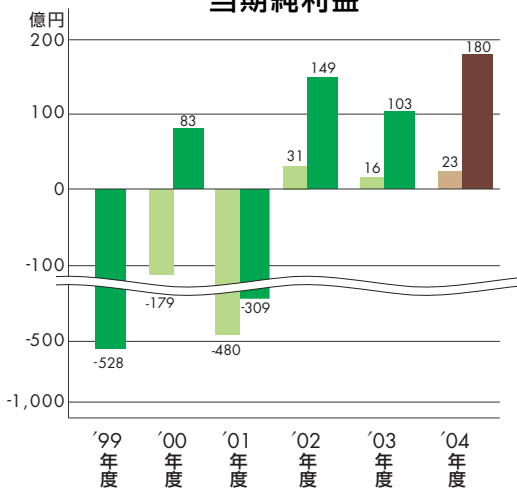


■ 通期 ■ 中間期

売上高



当期純利益



2004年度中間決算のご報告

FI

● 貸借対照表の要旨

(2004年9月30日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	9,044	流動負債	10,209
現金預金	569	支払手形	462
受取手形	83	工事未払金	2,550
完成工事未収入金	1,842	短期借入金	2,130
販売用不動産	866	未払法人税等	3
未成工事支出金	4,081	未成工事受入金	3,756
開発事業等支出金	277	預り金	1,116
その他	1,330	完成工事補償引当金	11
貸倒引当金	△6	その他	176
固定資産	6,222	固定負債	2,936
有形固定資産	1,491	社債	850
土地	1,019	長期借入金	1,654
その他	471	退職給付引当金	173
無形固定資産	74	役員退職慰労引当金	13
投資その他の資産	4,655	関係会社投資等損失引当金	94
投資有価証券	2,084	その他	151
長期貸付金	646	負債合計	13,146
その他	2,177	資本の部	
貸倒引当金	△252	資本金	943
資産合計	15,267	資本剰余金	615
		資本準備金	238
		その他資本剰余金	376
		利益剰余金	370
		任意積立金	245
		中間未処分利益	125
		株式等評価差額金	192
		自己株式	△0
		資本合計	2,121
		負債資本合計	15,267

(注) 1. 関係会社に対する短期金銭債権 39億円
 関係会社に対する長期金銭債権 538億円
 関係会社に対する短期金銭債務 498億円
 関係会社に対する長期金銭債務 1億円

2. 担保に供している資産

販売用不動産 7億円
 投資有価証券 0億円
 長期貸付金 0億円
 投資その他の資産・その他 0億円

計 9億円

3. 保証債務額 173億円

4. 有形固定資産の減価償却累計額 608億円

● 損益計算書の要旨

(2004年4月1日から
2004年9月30日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	4,765
完成工事高	4,524
開発事業等売上高	241
売上原価	4,351
完成工事原価	4,131
開発事業等売上原価	219
売上総利益	413
完成工事総利益	392
開発事業等売上総利益	21
販売費及び一般管理費	315
営業利益	98
営業外損益	
営業外収益	35
受取利息配当金	25
その他	9
営業外費用	42
支払利息	34
その他	7
経常利益	91
特別損益の部	
特別利益	14
特別損失	16
税引前中間純利益	88
法人税、住民税及び事業税	△3
法人税等調整額	43
中間純利益	49
前期繰越利益	76
中間未処分利益	125

- (注) 1.工事進行基準による完成工事高 1,380億円
 2.売上高のうち関係会社に対する部分 249億円
 3.売上原価のうち関係会社からの仕入高 461億円
 4.関係会社との営業取引以外の取引高 2億円
 5.一株当たりの中間純利益 5円09銭

2004年度中間連結決算のご報告

● 連結貸借対照表の要旨

(2004年9月30日現在)

(単位:億円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	10,798	流 動 負 債	11,722
現金預金	790	支払手形・工事未払金等	3,697
受取手形・完成工事未収入金等	2,377	短期借入金	2,841
未成工事支出金等	4,503	未成工事受入金	3,921
たな卸不動産	1,689	預り金	982
その他	1,447	完成工事補償引当金	14
貸倒引当金	△ 10	その他	265
固 定 資 産	7,145	固 定 負 債	4,024
有形固定資産	3,078	社 債	879
建物・構築物	1,033	長期借入金	2,242
土地	1,894	退職給付引当金	381
その他	150	役員退職慰労引当金	25
無形固定資産	119	その他	495
投資その他の資産	3,947	負 債 合 計	15,747
投資有価証券	2,222	少 数 株 主 持 分	
その他	1,803	少数株主持分	254
貸倒引当金	△ 77	資 本 の 部	
		資 本 金	943
		資 本 剰 余 金	615
		利 益 剰 余 金	165
		土地再評価差額金	23
		その他有価証券評価差額金	211
		為替換算調整勘定	△ 15
		自 己 株 式	△ 0
		資 本 合 計	1,942
資 産 合 計	17,944	負債、少数株主持分 及び資本合計	17,944

● 連結損益計算書の要旨

(2004年4月1日から
2004年9月30日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
営業損益	
売上高	6,188
完成工事高	5,303
開発事業等売上高	885
売上原価	5,559
完成工事原価	4,835
開発事業等売上原価	724
売上総利益	628
完成工事総利益	467
開発事業等売上総利益	161
販売費及び一般管理費	556
営業利益	72
営業外損益	
営業外収益	34
受取利息	10
受取配当金	11
為替差益	3
その他	8
営業外費用	53
支払利息	44
その他	9
経常利益	53
特別損益の部	
特別利益	21
前期損益修正益	12
固定資産売却益	4
投資有価証券売却益	4
その他特別利益	0
特別損失	18
投資有価証券評価損失	6
貸倒損失	1
訴訟和解金	3
その他特別損失	7
税金等調整前中間純利益	56
法人税、住民税及び事業税	△1
法人税等調整額	35
少数株主損失	1
中間純利益	23



地域ゼロエミッションをめざす、 ビジネスモデルの企画・運営

愛知県田原市の次世代ごみ処理プラントと 地域リサイクルネットワーク計画でPFI事業を推進

市町村合併が進む全国の自治体では、広域化に伴うごみ処理施設の改変計画が相次いで進められています。なかでも、生活系可燃ごみから炭化物をつくるリサイクル施設は、地域ゼロエミッション型プラントとして大きな注目を集めています。

現在、愛知県田原市が進めている「新リサイクルセンター整備等事業」は、そうした資源リサイクル施設をPFI方式（民間企業の資金で公共施設や公共サービスを実施する事業）によって整備・運営するもので、大成建設は日本ガイシ（株）とともに、基本構想の段階から提案を行い、事業スキームとコンソーシアムの編成に中核的な役割を果たしてきました。

従来の一般可燃ごみリサイクルの多くは、RDF^{*}化が採用されていますが、安全性の問題や処理コストの面など、大きな問題を抱えているのが現状でした。提案に当たっては、日本ガイシの炭化炉技術を導入。年間16,000トンの一般ごみを炭化させ、製鋼所の電気炉用代替燃料等としてリサイクルすることで、ごみ処理のコスト低減、CO²排出量削減をめざします。



事業スキーム構築に際しては、地域周辺にある利用先候補企業の綿密なヒアリング調査を実施し、最適なごみ処理技術によって品質面でもコスト面でも条件をクリアできるシステムを完成。利用先企業にもコンソーシアムに参入してもらうなど、地域の産業特性を生かして長期間にわたり安定したリサイクル事業が可能な運営手法を確立しました。

また、地域の環境保全対策からは、敷地内に建設予定地近くの汐川干潟との生態系ネットワークを構成するビオトープを、施設内に自由に楽しめる見学コースや環境学習コーナーを設けるなど、地域住民の視点に立った開かれた施設をめざしました。

整備事業はBOT (Build-Operate-Transfer) 方式によって運営され、大成建設・日本ガイシなどが出資するSPC (特別目的会社) が今後15年間にわたって事業運営を行い田原市のゼロエミッション構想の中核を担います。

※可燃ごみを利用した固形燃料

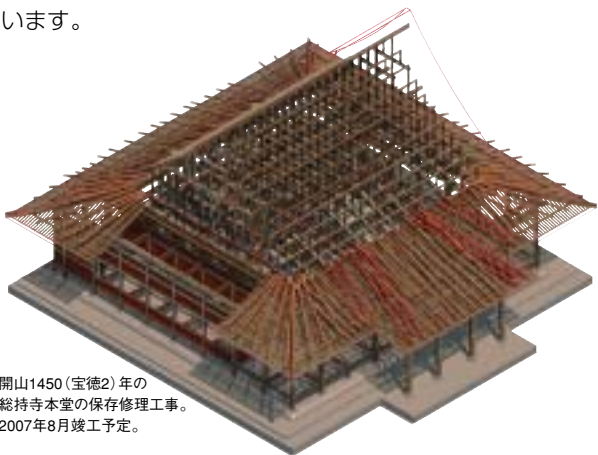
「大成建設環境・社会報告書2004」ご希望の方は、
info@eco.taisei.co.jpまでご連絡ください。追って送付いたします。

伝統工法と最新技術の融合 文化財修復工事で高い評価

日本伝統の建築美を守り後世に伝えていくために、大成建設では、伝統工法と最新の技術を融合させて数々の文化財の解体修理に取り組んでいます。現在、和歌山県で修復工事が進められている和歌山県指定文化財である総持寺本堂は江戸末期の建物。注意深く解体された部材は錆びた釘ひとつにいたるまで念入りに調査・保管され、欠損した部分は新たに同種の部材によって製作され復原されます。さらに伝統的な建築物を将来にわたって最良の状態に保存するために最新の構造解析技術を駆使した耐震診断を実施。耐震補修を行う際にも可能な限り日本古来の伝統工法による構造を提案しています。

14

大成建設では、2001年に自由学園明日館（重要文化財）の保存修復工事を完成させて以来、文化財修理工事の件数が増えており、東京都昭島市・大日堂本堂、千葉県館山市・那古寺観音堂をはじめ、国の重要文化財に指定されている神奈川県横浜市の関家住宅など2つの古民家の修復工事を担当。長年にわたる修復工事の経験と最新の技術によって、文化遺産の保存と活用に高い評価を得ています。



開山1450(宝徳2)年の
総持寺本堂の保存修理工事。
2007年8月竣工予定。

トルコの国家的プロジェクト ボスポラス海峡横断鉄道 建設工事を受注

このたび大成建設はトルコ政府からボスポラス海峡横断鉄道建設工事を受注しました。この工事は、トルコ政府がイスタンブール市内の交通量緩和のため、大量輸送手段として事業化を決定したプロジェクトです。日本のODAにより、ボスポラス海峡を挟んで東西にアジア側とヨーロッパ側に分かれている市の中心部を結ぶ鉄道(13.6km)を建設し、今後の旅客人口の増加や環境問題に対応することが目的です。

工事の主要部分は延長約9.4kmのシールドトンネルおよび世界最深(最大深度-59m)となる約1.4kmの沈埋トンネルで、4駅舎を含む土木・建築・設備工事の設計施工を行います。計画では両側に既に存在する鉄道路線と相互乗り入れすることになっており、この鉄道路線の改修工事も別工事で実施されることになっています。

2004年5月にはエルドアン首相臨席のもと盛大な起工式が執り行われました。工事の着工は8月。約56ヶ月の工期を経て、完成すればアジア大陸とヨーロッパ大陸を結ぶ初の地下鉄道となります。



2004年5月9日に行われた起工式・鍬入れの儀

主な施工中工事のご紹介

UNDER CONSTRUCTION



第二名神高速道路甲南トンネル
上り線工事
(滋賀県甲賀市)



シンガポールレパブリック
工藝専門学校新築工事
(シンガポール共和国)



第二東名高速道路矢作川橋
(PC上部工) 東工事
(愛知県豊田市)



川口1丁目1番第一種市街地
再開発事業施設建築物等建設工事
(埼玉県川口市)



東西連係ガス導管新設工事
(東扇島)のうち土木工事(第2工区)
(神奈川県川崎市)



島根県芸術文化
センター(仮称)
建設(建築)工事
(島根県益田市)

主な受注工事のご紹介

CONTRACTS RECEIVED

物件名	所在地	発注者
トルコ ボスボラス海峡 横断鉄道建設工事	トルコ共和国	トルコ運輸通信省 鉄道・港湾・空港建設局
(仮称)東京ミッドタウン プロジェクト(B・E棟)新築工事	東京都	アール・ピー・ベータ 特定目的会社他9社
牛島再開発事業第2期工事	愛知県	牛島市街地再開発組合
泊発電所3号機増設工事 のうち原子炉建屋他新築工事	北海道	北海道電力(株)
香川用水調整池本體工建設工事	香川県	独立行政法人水資源機構

主な完成工事のご紹介

CONSTRUCTION COMPLETED

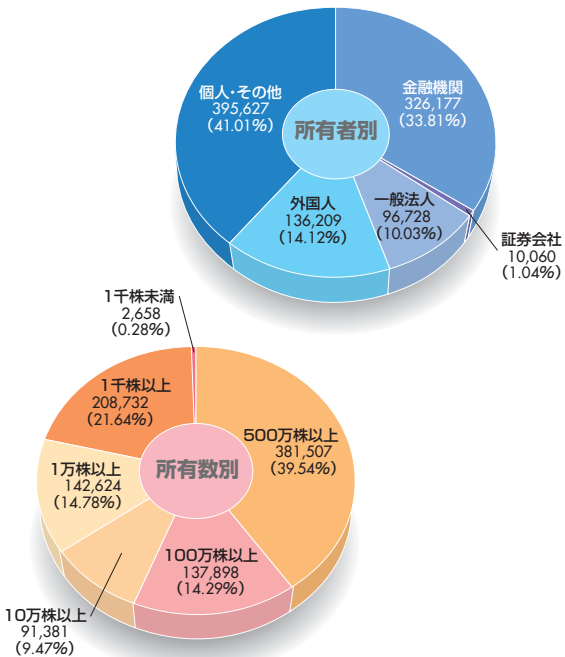
物件名	所在地	発注者
東京国際空港(羽田) 東旅客ターミナルビル新築工事 — その2(B1区)	東京都	日本空港ビルデング(株)
中部国際空港旅客 ターミナルビル新築工事(その1)	愛知県	中部国際空港(株)
ダイヤモンドシティ・ルクール新築工事 (仮称・ダイヤモンドシティ福岡 かすやショッピングセンター新築工事)	福岡県	三菱商事(株)
富士重工宮原ショッピング センター(3街区・4街区) 新築工事	埼玉県	スバル興産(株)
公共道路改築事業タラガ トンネル(美濃工区)工事	岐阜県	岐阜県

株式の状況

1 株式の異動

会社が発行する株式の総数	1,145,000,000株
発行済株式総数	964,802,821株
当期末株主数	114,573名
当期中の名義書換件数	2,422件
当期中の名義書換株式数	42,371,852株

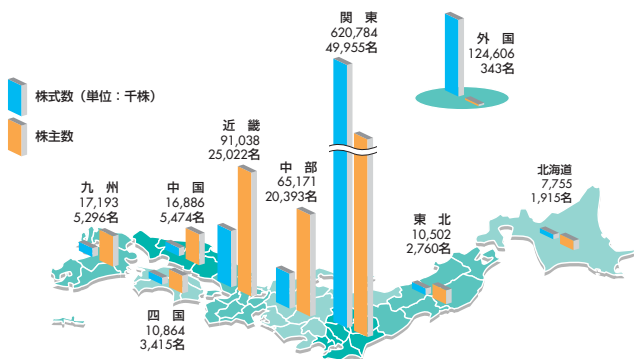
2 株式分布状況 (単位：千株)



3 株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	71,092	7.37
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,776	5.37
大成建設社員持株会	31,285	3.24
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.40
大成建設取引先持株会	22,193	2.30
三菱地所株式会社	17,604	1.82
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.67
明治安田生命保険相互会社	15,741	1.63
みずほ信託銀行株式会社	11,816	1.22
UFJ信託銀行株式会社 (信託勘定A口)	10,910	1.13

4 地域別株式分布状況



会社の概要

商号

大成建設株式会社
(英文名 TAISEI CORPORATION)

設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

資本金

94,348,298,842円

本店

東京都新宿区西新宿一丁目25番1号
新宿センタービル
電話03(3348)1111

従業員数 9,711名

支店

東京支店(東京都新宿区)	四国支店(高松市)
関西支店(大阪市)	千葉支店(千葉市)
名古屋支店(名古屋市)	関東支店(さいたま市)
九州支店(福岡市)	神戸支店(神戸市)
札幌支店(札幌市)	京都支店(京都市)
東北支店(仙台市)	国際支店(東京都新宿区)
広島支店(広島市)	中東支店(アラブ首長国連邦)
横浜支店(横浜市)	台北支店(台湾)
北信越支店(新潟市)	

事業本部

住宅事業本部

技術センター(横浜市)

国内営業所等 79か所

海外営業所

ソウル営業所
香港営業所
ミャンマー営業所(ヤンゴン)
クアラルンプール営業所
シンガポール営業所
ジャカルタ営業所
ヨーロッパ営業所(フランクフルト)
ロンドン営業所
アメリカ営業所(カリフォルニア)
ハワイ営業所
ペルー営業所(リマ)
トルコ営業所(イスタンブール)

役員

●取締役 (2004年11月1日現在)

代表取締役会長	平島 治
代表取締役社長	葉山莞児
取締役	早川正一
代表取締役	本田泰三
代表取締役	市川正美
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
取締役	山田 浩
代表取締役	詫間博康
取締役	関谷哲夫
取締役	山本恵朗

*関谷哲夫、山本恵朗は、商法第188条第2項第7号の2に定める社外取締役です。

●監査役

常任監査役 (常勤)	潮田 徹
常任監査役 (常勤)	田丸 浩
監査役	山本 正
監査役	樋口武文
監査役	岡村 甫

*山本 正、樋口武文、岡村 甫は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

●執行役員 (2004年11月1日現在)

※社長	葉山莞児
※副社長	早川正一
※副社長	本田泰三
※副社長	市川正美
※副社長	鶴田宣彦
※副社長	南部邦彦
専務役員	廣田保之
専務役員	伊藤美喜男
専務役員	増田光男
専務役員	奥村紘司
※専務役員	山田 浩
※専務役員	詫間博康
専務役員	園田邦之
専務役員	萩原弘道
専務役員	氏原完典
専務役員	岡崎洪太郎
専務役員	山内隆司
常務役員	古林 徹
常務役員	菊岡保人
常務役員	小林幸夫
常務役員	井川文雄
常務役員	高橋大輔
常務役員	名和洋介
常務役員	小倉勝彦
常務役員	可児才介
常務役員	小林将志

常務役員	岡本 敦
常務役員	寺下 均
常務役員	五木田通夫
常務役員	鎌田 勝
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	中津海光夫
執行役員	久間忠勝
執行役員	日比野宏明
執行役員	駒井勇夫
執行役員	藤崎忠俊
執行役員	藤原義弘
執行役員	久保博司
執行役員	木村洋行
執行役員	中村賢二
執行役員	河村壮一
執行役員	茂手木信行
執行役員	窪添貴治
執行役員	平野邦彦
執行役員	多田博是
執行役員	永嶋 功
執行役員	関 哲雄
執行役員	荒井康博
執行役員	阿久根操

※は取締役兼務者です。

大成グループ企業

T A I S E I G r o u p

グループビジョン

CSを原点に技術とノウハウで
新しい価値を創造する企業グループ

■ 主たるグループ会社

- 大成ロテック(株) 東証1部上場
- 有楽土地(株) 東証2部上場
- 大成ユーレック(株)
- 成和機工(株)
- 大成設備(株)
- 大成サービス(株)
- ケーヨーリゾート開発(株)
- 有楽土地住宅販売(株)
- 大成建設ハウジング東京(株)
- 大成コンストラクション 他

22



大成ロテック(株)
「浜名湖花博」会場で採用された“クールロード”〔保水性舗装道路〕



ケーヨーリゾート開発(株) シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル

こだわれば、 コンクリート打放し。

シャープなライン、量感のあるグレーの壁面……。
現代的な美しさを持つコンクリート打放し住宅。
大成建設のコンクリート打放し住宅「パルコン」は、
安定した仕上がりと高性能なデザインを誇ります。
地震に強い高度な安全性能はもちろん、
住まう人のための快適性能も磨きあげました。
美しさ、性能に、こだわれば「パルコン」。

狭い土地に、夢を建てる。

Palcon
— Switch —



問い合わせ先



0120-197-406

<http://www.homestyle.taisei.co.jp/>

大成建設株式会社 住宅事業本部

株主メモ

- 1 決算期** 3月31日
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 配当金**
利益配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
※利益配当及び中間配当は上記を基準日とする株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載又は記録された株主、登録質権者又は信託の受益権者にお支払いいたします。
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋
- 5 名義書換代理人
同事務取扱所
(郵便物送付先
及びお問合せ)** みずほ信託銀行株式会社
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話 03(5213)5213(代表)
- 同 取 次 所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社本店
及び全国各支店
- 手 数 料** ① 名義書換: 無料
② 株券再発行: 株券1枚につき210円
(消費税額等を含む) ただし、併合及び満欄の場合は無料
③ 単元未満株式の買取・買増: 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額及びこれにかかる消費税額等の合計額
④ 株券喪失登録: 申請1件につき10,500円(消費税額等を含む)、喪失登録する株券1枚につき525円(消費税額等を含む)
- 6 公告掲載新聞名** 東京都において発行する日本経済新聞
※貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス (<http://www.taisei.co.jp/>)

表紙: 門脇俊一2000年制作

“現代の浮世絵師”と称され、日本の画壇において独自の地位を築いている門脇俊一画伯(1913年～)は、自然や風物、人物をテーマに、木版画をはじめ、水彩や油絵、屏風画など多彩な表現方法で数多くの作品を手掛けています。大成建設では、1981年から2004年まで、創作版画「四季の風俗」シリーズを毎年カレンダーとして制作していただいていたました。



TAISEI

大成建設株式会社

〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>